

シェア・インターナショナル ニュース

メディアへの呼び掛け

【1982年以來『シェア・インターナショナル』誌は、クレームが接触を持つ智恵の覚者による記事を掲載してきました。それは決して神秘的な、あるいは世俗を離れたものではなく、人類が直面する現実の問題がしばしば取り上げられてきました。以下の最新の記事は、メディア関係者に向けて、世界を変えるこの途轍もない情報を大衆に知らせるといふ、彼らの重要な役割と立場を認識していただくよう呼びかけられています】

人々は、マイトレーヤが本当にわれわれの中に存在し、彼の仕事を実行するという証拠を何年もの間、確かにいらいらしながら待ってきた。われわれの世界に膨大な変容が起こっていることは明確であり、その一つ一つがマイトレーヤによって予言されて、それは一般の人々にそして世界のマスコミに伝えられてきたことを考えると、この疑いがなぜ、そんなに長いあいだ執拗に続いたのかを理解するのはおそらく困難である。そのような歓迎すべき出来事が確かに起こったということ——たとえ一つの仮説としてでも——受け入れることを阻むものは何か。

世界のマスコミはこの情報のあらゆる面を知っている——しかしながら、この情報の特質についてほとんど一般の人々に知らせていない。多くのメディアの代表がマイトレーヤにお会いしたことがあり、彼が話をするのを聞いたにもかかわらず、彼ら自身はいまだ沈黙したままである。

なぜそうなのか。この歓迎すべきニュースを一般に発表するのを抑制するのは何か。主に問題は恐怖心である——嘲笑や不信に対する恐れ；彼らの地位や職を失うことへの恐れ；自分たちが欺かれたのではないか、本当は自分が見たと思ったことを見なかったのではないか、聞いたと思ったことを聞かなかったのではないかということへの恐れである。自分の体験をわきにおいて、マイトレーヤご自身にお任せして——もし本当に彼が存在するならば——彼が前面に出て来られて、世界に実際の臨在の姿を示すのを待つほうが容易である。

法

この見解は、かように黙って待つ者たちには論理的ではあるが、マイトレーヤのようなご身分のお方の出現を支配する『法』についての理解の欠如を示す。

多くの立派な教師たちがわれわれの生活の中にやって来て、仕事をし、人間の思考と行動の表面にわずかな波紋を起こす。彼らは、彼らの道を整えるための先駆者を滅多に必要としない。しかしながら、マイトレーヤは世界教師であり、ハイアラキーの長であり、次の世界周期全体にわたって、そのような方として奉仕しようとしておられるのである。人類に対する彼の影響は計り知れない。彼の到来はまさに極めて重大な出来事であり、その前に準備が整えられなければならない、あらゆる分野・場所にいる人間に十分に説明されなければならない。

世界のマスコミは、われわれの時代の本当の出来事を人類に知らせるために理想的な位置にある。真実を求め、知識と希望に渴望する何百万の人間はマスコミに情報を、しばしばガイダンス（導き）を求める。マスコミに携わる男女、善意の男女は、この情報について、必要ならば、彼ら自身がよく理解し、そしてそれを真剣に紹介することによって公共に奉仕する義務を持つ。そうすると、彼らは、いかにして世界を正すかをわれわれすべてに示そうとしておられるマイトレーヤを公に見るだろう。

（シェア・インターナショナル2008.1月号より）

註：覚者方とは、太古の昔から舞台の背後で人類を導き鼓舞して来られた大悟され完全の域に到達された方々の一団である。その一団（ハイアラキー）の長の職務にあるのがマイトレーヤという方である。今、彼らは、人類が最も緊急な世界の諸問題を解決するのを助け、分かち合いと、社会・経済的正義と、世界的な協力に基づく新しい文明の創造を鼓舞するために、日常の世界に戻って来られようとしている。